

# ぽれぽれ 通信

豪雨災害に

防衛省・自衛隊の対応は??

9・10月号  
vol.42



## いち早く動き出した 防衛省・自衛隊

7月、西日本を中心に多くの府県が豪雨に襲われた。先ず、失われた尊い命に哀悼の誠を捧げるとともに被害に遭われた多くの方々にお見舞いの意を表す。6日の夕刻、大雨特別警報が3県で発表され、同日、夜に

# 全国から自衛隊が 被災地へ集結 —平成30年7月豪雨—

は新たに1府4県で、翌7日、更に1県で、翌々8日には2県で発表された。一方、防衛省では、6日午後、防衛省災害対策連絡室を設置し、翌7日には、同対策室を設置し、更に翌々8日には同対策本部を設置するなど災害の状況に合わせて体制を強化していった。加えて、防衛省は、既に5日の午後には、高

知県庁・安芸市役所・京都府庁にLO(Liaison officer 連絡幹部)を派遣し、地域の実情把握と自治体との連携を計り、いつ自治体から災害派遣要請が来ても対応できるように早期に対処していた。そして、豪雨の範囲が拡大するとともに逐次LOを各地域に派遣した結果、最終的には、74箇所に約300名のLOを派遣し、各自治体から災害救助などどのような支援が必要か、地元ニーズを把握することに努めた。LOを派遣し始めた翌6日には、1府4県の自治体から災害派遣要請がなされ、最終的に1府7県から出されることとなった。

## 甚大な被害と判断し

## 即応予備自衛官も招集

防衛省・自衛隊の活動規模は、

最大時、人員約3万3,000名、艦艇28隻(民間船舶)はくおう(を含む)、航空機38機、L074箇所(約300名)を派遣した。また学生(自衛官)も投入した。被災地域にある海上自衛隊幹部候補生学校と第1術科学校からそれぞれ約100名、計約200名の学生が土砂撤去作業などの活動に従事した。更に即応予備自衛官にも招集を掛けた。同官制度創設以来3回目の招集となった。1回目は東日本大震災、2回目は熊本地震の際である。中部方面で登録している者に対して約300名を招集し、311名が災害対応に従事した。25万人の自衛官がいるのに何故?と感じた読者もいるだろうが、災害の規模が大きく、自衛隊の各種支援活動が長期化する可能性を視

野に入れ、活動に万全を期すために招集をしたのだ。また全国で登録者がいるが、被災地が地元である中部方面に登録している即応予備自衛官を招集することによって、より地元の事情に精通した者を部隊に投入することで支援活動を実施する態勢を強化したのである。例えば、「〇〇小学校の〜が…」や「〇〇スーパーの〜で…」と被災者から声を掛けられた場合、北海道から駆け付けた自衛官よりも地元で招集された即応予備自衛官の方が地の利があり容易に通じることがあるのは想像に難くない。

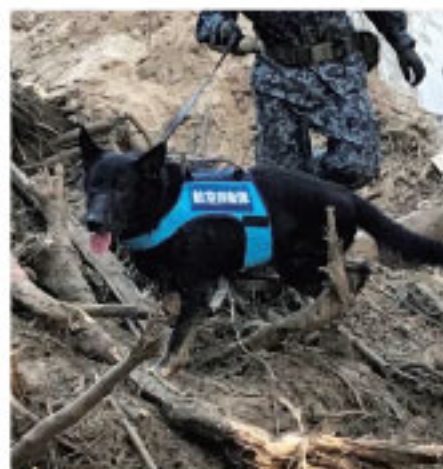
## 人間(自衛官)だけでなく 犬(警備犬)も大活躍

隊員だけでなく犬も活躍した。海上自衛隊と航空自衛隊には警備任務の訓練を受けた

犬が警備犬として配備されている。その中から大気の浮遊臭から人間の臭気を検知して、地域を搜索する訓練を経た犬は地域搜索犬として、更に、その地域搜索犬から訓練を重ね国際救助犬連盟(IRO)の認定試験に合格した犬は、災害救助犬としての能力も有している。それらの災害救助犬、地域搜索犬を投入した。海自の警備犬3頭(災害救助犬3頭)、空自の警備犬7頭(災害救助犬4頭、地域搜索犬3頭)が行方不明者の搜索活動を実施した。残念ながら生存者の発見には至らなかつたものの凶らずも豪雨で斃られた方々を見つけ出しご家族のもとにお返しすることができた。そのような警備犬の活躍を山本がSNSを通じて発信したところ「犬の肉球が血まみれになっ

て可哀相」犬靴を履かせてあげて下さい」などの連絡が多数寄せられた。実は、自衛隊には犬靴の装備品がない。ただ、災害救助訓練を終了した犬は、瓦礫や倒壊した家屋などの足場の悪い場所でも適切な踏み場を判断する能力がある。また現場では、指揮官が先ず現場状況を目視で確認し、危険箇所、危険物の把握、それらの除去を隊員に指示する場合もあり、余りにも危険物が多くある場合は、警備犬の投入自体も制限を掛ける。また犬の足裏には、体温調整やセンサー機能も備わっており、多くの情報を収集しているとの指摘もあり、犬靴を履かせることによつて、その情報源を遮断すれば思わぬ事故を招く恐れもある。決して警備犬の足元への無関心によつて犬靴を履かせていな

いわけではないのだ。  
8月17日に平成30年7月豪雨における災害派遣活動は終了した。防衛省・自衛隊の活動実績としては、人命救助、孤立者救助が2,284名、給水支援が約1万9千トン、入浴支援の利用者は約9万4千人、給食支援は約2万食、物資輸送として飲料(約18万本)、食料(約7万4千食)、燃料(約12万5千ℓ)を被災地に届け、水防活動として土嚢を約5千200袋作成し各所に積み



▲行方不明者を捜索する警備犬

上げ、障害物で閉ざされた道路を切り拓く道路啓開(ひらき)は約40km、瓦礫処理としてダンプカー約1万4千台分を運び出した。被災地においても出来るだけ通常の生活が送れるように、必要な物資を届ける、或いは、その環境を整えることが重要であり、自衛隊以外の組織では対応できない場合や緊急の場合、防衛省・自衛隊は総力をもつて国民の生命と財産を守り抜くのだ。最後に、山本も防衛省や首相官邸で開催される各災害対策会議に出席し、防衛大臣が被災現場に赴くなど公務で不在の場合は、防衛副大臣として陣頭指揮を執り、また山本自身も被災地に赴き酷暑の中、支援活動を行う隊員を激励するなど災害対応に一心不乱に職責を果たしていたことも報告しておく。

## 神奈川県議会議員選挙(鎌倉市) 自民党が公認を 永田まりなさんに決定!

### メッセージ

市議会議員としてこれまで「選択肢が無限に広がる街に」を自らのテーマとし、女性の就労支援、鎌倉を働くまちにするための取り組みを中心に議会活動をしてきました。その中で、自らの掲げる政策実現のため、また、その他鎌倉市の抱えている諸課題解決のためには国県市連携の重要性を強く感じるようになり、自らが県政という立場から鎌倉市が抱えている諸課題を解決していきたいという一心で県政に挑戦することを決意しました。

永田まりな



### 永田まりなプロフィール

1983年2月19日生まれ 35歳 AB型 七里ヶ浜在住

聖路加幼稚園▶七里ヶ浜小学校▶北鎌倉女子学園中学校

▶鎌倉高等学校▶フェリス女学院大学卒業

2004ミス鎌倉、大学卒業後はフリーアナウンサーとして活動

2013年鎌倉市議会議員初当選、2017年2期目に当選

若い世代に政治を身近に感じてもらうべく春・夏に大学生インターンを受け入れ中  
(これまでに15人が活動に参加)



駅で「ぼれぼれ通信」を  
お配りしております  
**駅頭活動報告**

「え?!ご本人なの?

初めてご本人からいただくわ!」と。

駅頭で「ぼれぼれ通信」を配布し始めて、

そろそろ丸7年になりますが、

まだまだのようです。

さあ、もっと頑張ろうっ!

朝の6:30~8:30までの2時間にわたり、4区内の  
下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は傘とお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。



前回の「ぼれぼれ通信」配布数

7月・8月集計分

| 駅名          | 7月     | 枚数    | 8月     | 枚数    | 前月比 |
|-------------|--------|-------|--------|-------|-----|
| 豆子駅         | 3日(火)  | 377   | 2日(木)  | 245   | ↓   |
| 新豆子駅        | 4日(水)  | 312   | 3日(金)  | 232   | ↓   |
| 鎌倉駅(東口)     | 18日(水) | 163   | 29日(水) | 165   | →   |
| 鎌倉駅(西口)     | 9日(月)  | 153   | 20日(月) | 180   | ↑   |
| 大船駅(西口)     | 19日(木) | 224   | 27日(月) | 469   | ↑   |
| 大船駅(モノレール口) | 10日(火) | 207   | 28日(火) | 453   | ↑   |
| 大船駅(東口)     | 11日(水) | 169   | 10日(金) | 151   | →   |
| 大船駅(笠間口)    | 20日(金) | 185   | 21日(火) | 227   | ↑   |
| 本郷台駅        | 13日(金) | 170   | 22日(水) | 160   | →   |
| 港南台駅        | 17日(火) | 108   | 23日(木) | 81    | ↓   |
|             | 7月配布合計 | 2,068 | 8月配布合計 | 2,363 | ↑   |

アドレスは「ぼれぼれ」

twitter、Facebookも本人がやっています  
皆様からのご質問やご意見、お待ちしております。



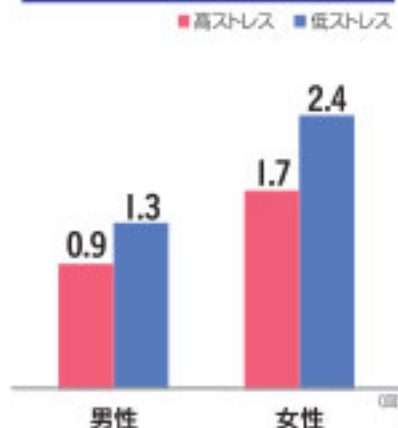
# 女々しい？男の涙とストレスオフ

全国20～69歳の14万人を対象に実施したストレスチェック。今回はその結果を「泣く回数」とストレスの関係性に着目して検証したい。

泣かない県  
ランキング(男性)

| 順位 | 都道府県名 |
|----|-------|
| 1位 | 三重県   |
| 2位 | 愛知県   |
| 3位 | 神奈川県  |
|    | ⋮     |

ストレスレベル別  
泣く回数



※メディプラス研究所調べ。

「男たるもの、人前で泣くべきでない」と思っている方はいるだろうか。かくいう山本も、公の場で涙を流すようなことはめったにない。しかし、今回の調査によるとそれはどうやら、あまり良いことではないようである。

調査結果によれば、男性は女性に比べて泣く回数が二分の一ほどであり、半数以上の52.5%が「月に1度も泣かない」と回答している。また同時に、低ストレスであるほど泣く回数が多いという調査結果も

得られた。つまり、涙を流すことはストレスオフに関連している可能性があり、実際に「涙活」という、泣いてストレスオフをはかる活動もある。

都道府県別で比べると、なんと神奈川県男性は、泣かない県ランキング第3位とのこと。高ストレス者を減らすきっかけとなるのであれば、ぜひ素直に涙を流し、ストレスオフしていくべきではないかと思われる。皆様も、映画などで思いっきり泣いてみてはどうだろうか？

## 山本ともひろプロフィール

### 経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒塾 (21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成29年 衆院選 4期目の当選

## 自由民主党 衆議院議員(4期 9年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)  
昭和50年(1975年)生まれ  
43歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

## 国会・防衛省見学案内実施中!!

国会や防衛省を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく楽しかった!」と大好評。ご案内は無料で行っていますので、詳細は下記事務所にお気軽にお問合せ下さい。



## ぼれぼれ通信って何?



「ぼれぼれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



## 山本ともひろ事務所リスト

**本部事務所** 神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F  
TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

**国会事務所** 東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室  
TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

平成30年(2018年)9月3日発行 第42号

【編集・発行】山本ともひろ後援会ぼれぼれ通信制作委員会 鎌倉市大船1-6-6 3F TEL 0467-39-6933 FAX 0467-39-6943

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。